

# 令和6年1月定例会会議録

(令和6年1月22日)

八代市教育委員会

## 八代市教育委員会 1 月定例会会議録

- 【開催日】 令和6年1月22日（月）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長  
渡邊 裕一 教育委員  
早田 蛍 教育委員  
澤村 互寛 教育委員  
丸山 智子 教育委員
- 【出席職員】 中 勇二 教育部長  
松川 由美 教育部次長  
田中 智樹 教育部次長  
下津 恵美 教育政策課長  
田北 佳一郎 学校教育課長  
三浦 稔継 学校教育課審議員  
稲本 健一 教育部理事兼教育施設課長  
高崎 博文 生涯学習課長  
櫻井 幸枝 教育サポートセンター所長  
上角 愛美子 博物館未来の森ミュージアム副館長
- 【事務局】 萩本 誠子 教育政策課教育政策係長  
浦本 美代子 教育政策課参事

### （審議事項）

#### <議案案件>

- ① 八市教委議第1号 八代市立学校体育施設条例施行規則の一部改正について
- ② 八市教委議第2号 八代市立学校統合等審議会条例の一部改正について
- ③ 八市教委議第3号 八代市未来の学校づくり推進室規程の制定について
- ④ 八市教委議第4号 八代市教育委員会委員の報酬及び費用弁償条例の一部改正について

#### <協議案件>

- ① 協議第1号 八代市教育支援センター「くま川教室」の移転について

#### <報告案件>

- ① 報告第1号 令和5年度12月補正予算の概要について

1. 開会 (午後2時00分 開会)

2. 会議録承認 令和5年8月定例会、9月定例会
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告
4. 議題  
〈八市教委議第1号〉 八代市立学校体育施設条例施行規則の一部改正について

下津教育政策課長 地域の避難所をはじめとした防災拠点施設の充実を図るため、避難所に指定されている市内小中学校のうち18校の学校体育館にエアコンが整備されることになった。しかしながら、避難所開設時の使用に限った場合、利用頻度は低くなり、機器の長寿命化を考慮すると避難所運営以外での使用も必要であるとの判断から、体育館を使用する一般利用者への使用も許可することとした。これに伴い、改正を行うものである。

早田教育委員 体育館で冷暖房を使用した場合は、同類の市有施設である社会体育施設やコミュニティセンター会議室等と同様に減免を行わず、使用料が必要となるということだろうか。

下津教育政策課長 そのとおりである。

渡邊教育委員 学校の授業や行事等の運用指針については、おおまかに理解できた。中学校の部活動についても冷暖房を使用しないということであるが、第7条によると八代っ子クラブは減免されるということだろうか。

下津教育政策課長 第7条第1項において、使用料（冷暖房に係る使用料を除く。）を減免する場合と規定するので、冷暖房に係る使用料は減免はしないということである。

北岡教育長 体育館の使用料は減免するが、冷暖房については実費負担になるということである。

渡邊教育委員 冷暖房の形状はどのようなものだろうか。

稲本教育部理事兼教育施設課長 スポットバズーカという仕様になっており、風が大量に出るものが付いており、かなり遠くまで届くようになっている。ただ、小中学校の体育館は、上に換気塔があり空気が流れやすいような作りになっている。冷気は下にたまるが、暖気はかなり上に抜けるという欠点が生じるが、風量がかかなり強く、風量で押すような冷暖房を設置したところである。

## 【八市教委議第1号 承認】

〈八市教委議第2号〉 八代市立学校統合等審議会条例の一部改正について

田北学校教育課長 令和6年度に「八代市立学校再編等審議会」を設置し、八代市立小・中学校の統合等について諮問をし、第2次（後期）の学校再編基本方針及び基本計画の策定に取り組んでいくため、本条例を見直し、必要な改正を行うものである。

丸山教育委員 組織について、今までは八代市小学校校長会と八代市中学校校長会と別々に規定されていたが、改正案では八代校長会とある。組織自体が1つになったということだろうか。

田北学校教育課長 八代校長会とは、氷川町と八代市の校長先生を含めた組織である。氷川町の校長先生が代表になられた場合、本審議会の一員になるのは都合が悪いため、「構成する者」から推薦していただく形とした。以前の校長会についても組織は同じであるが、今回は八代市の校長会から選出するという点でこのような表記になっている。

丸山教育委員 それぞれの団体から選出する人数は決まっているのだろうか。

田北学校教育課長 委員は15人以内となっているが、具体的には規定していない。スタート当初では、PTA連絡協議会から2名、まちづくり協議会から1名、市政協力員協議会から1名、八代校長会から2名を考えている。時間の経過とともに、人数が変わってくる可能性もあるため、人数は規定していない。

早田教育委員 義務教育学校とはどのようなものか。また、近隣にあるか。

田北学校教育課長 義務教育学校については、県内では阿蘇、球磨地域で現在スタートしている。本市では、泉地域が小中一貫校として、小学校と中学校が同じ敷地内で学びを行っているところであるが、義務教育学校は、小学校と中学校が分かれていない1つの組織であり、9カ年を1つの学校で学ぶことになる。こうすることで、カリキュラムをある程度義務教育学校内で工夫でき、小学校の段階で前倒しして学ぶことができたりする。現在、泉小・中学校ではそれぞれ校長先生、副校長先生がいらっしゃるが、義務教育学校は1つの学校であるため、校長先生が1名、教頭先生が1名ということになる。基本的には、生徒数

が減少している学校が、特色を持たせて小さな学校でも独自性のカリキュラムができ、地域の方々に喜んでいただくということで進みつつあるところである。

早田教育委員 球磨地域については、水上学園が義務教育学校であるか。

田北学校教育課長 そうである。

渡邊教育委員 次の議案と関係するが、教育部直属の未来の学校づくり推進室というネーミングがとても素晴らしいと思う。八代の教育部がどういった学校を未来の子供たちのために考えていくのか、その気持ちが大変現れていると思っている。

審議会は学校再編等審議会とするということであるが、昨年、行政視察に行った豊前市の基本方針等は、未来の学校づくりに似たような柔らかなネーミングと審議会だったかと思う。未来の学校づくり推進室において、学校再編等審議会を開くのか、その整合性が気になった。

中教育部長 今までは学校統合等審議会としており、統合等というのがネガティブなイメージであるため、条例で規定する審議会については、固くはあるが再編等とした。実際に審議会に諮問し答申をいただいた後に基本方針を策定するので、基本方針の名称は、単純に再編等基本方針とするのではなく、未来が見えるような、希望が持てるような名称を含めて打ち出していけるとよいかと考える。

渡邊教育委員 学校規模適正化や統合という文言は、今の時代には馴染まないと思う。再編という1つの考え方のもと、未来の学校を作っていくということで進めていくと理解を得られるのではないかと思う。

北岡教育長 これまで行われた統合や規模適正化については、担当部署においてはご苦労があったかと思うが、今回はもう少し大きく、地域をまたぐ形になるので、ネーミングについてはご指摘いただいたような形で進めていただきたい。

#### 【八市教委議第2号 承認】

〈八市教委議第3号〉 八代市未来の学校づくり推進室規程の制定について

田北学校教育課長 八代市立学校の再編について、専門的に再編業務に取り組む「八代市未来の学校づくり推進室」の設置にあたり、必要な事項を定めるものである。

丸山教育委員 設置期間について、所掌事務が完了する日までと明確に謳ってあり、所掌事務のうち再編等に係る基本方針及び計画の策定については、ある程度目途が立つと思うが、再編等の推進に関することについては、どこまでをイメージして所掌事務とするのか。全市的な視野で数十年先を見据えて取り組む事業であるため、大変大きな業務が想定される。所掌事務が完了する日までの現段階での目途を教えてください。

三浦学校教育課審議員 室の設置にあたっては、人事課からは、設置期間は令和9年3月31日までと示したらどうかということであった。基本計画策定となると、計画通りに進めばよいが、そうでない場合も十分考えられるため、このような表記にした。基本計画の策定が1つの目安になると捉えている。

丸山教育委員 基本計画の策定も3年では終わらない可能性もあるという中で、再編等の推進をするためにはさらに長い時間が必要と思う。ある程度腰を据えて業務が進められるような体制が取られるようにしていただきたい。

渡邊教育委員 過去の規模適正化については、学校教育課が中心となり、教育政策課、教育施設課と一緒に地域説明会等を開いたという経緯があると思うが、関係課を束ねる推進室ができるということは大変素晴らしいことだと思う。これからの再編がより良い形で推進していくのだろうと期待している。期間が3年という話があったが、その中でこれだけの業務を行うのは大変難しい面も多々あると思う。だからと言って、拙速な議論をしていくことはできないので、じっくりと取り組んで未来の学校が市民に受け入れられるように頑張りたい。

**【八市教委議第3号 承認】**

〈八市教委議第4号〉 八代市教育委員会委員の報酬及び費用弁償条例の一部改正について

下津教育政策課長 教育委員会委員の報酬については、毎月21日に支給しているが、本市の指定金融機関である肥後銀行から公金支出に係る振込手数料を有料化することが通知されたことから、これに係る歳出削減のため、報酬の支給日を定例振込日に改正するものである。

質問等なし

**【八市教委議第4号 承認】**

〈協議第1号〉 八代市教育支援センター「くま川教室」の移転について

櫻井教育サポートセンター所長 八代市教育支援センター「くま川教室」の移転の経緯等について、資料により説明

澤村教育委員 くま川教室が千丁支所に移転し、アンケート結果を見て良かったと思う。環境が変わって馴染めないということにならずに良かった。一方で、遠くなったというデメリットもあるので、ぜひとも南部に分室を作ることが大事であると思う。不登校児童生徒は今後も増えると予想される。児童生徒数は減少するかもしれないが、割合は増えているので、今後急激に減少することは考えにくい。利用しやすい場所に施設があるというのは、とても大事なことだと思う。施設を探すのは大変であり、建設するのも莫大な予算が必要になるが、一番の今後の課題ではないかと思う。我々も情報があれば協力したいと思う。

渡邊教育委員 くま川教室の指導員の一人という立場もあるので、この場を借りて申し上げたい。仮移転の際は、教育部総出で引っ越し作業に協力いただいて大変ありがたかった。想定の3分の1ほどの時間でできたのではないかと思う。また、千丁支所の職員の方々が非常に温かく受け入れてくださり、子供たちも職員に挨拶している姿を見かける。これまでの施設よりも、大人とのコミュニケーションに広がりがあり、よい影響であると感じている。令和6年4月1日から正式移転となると、腰を据えて地域等の連携体制も取りやすくなる。

教育サポートセンターの皆さんには本当に細かいところまで援助していただき、職員も子供たちも保護者もとてもよい状況である。3学期は毎日来る子供が非常に増え、よい状況で新年がスタートしたことを報告する。

〈報告第1号〉 令和5年度12月補正予算の概要について

松川教育部次長 12月定例市議会において議決されたものについて、資料により説明

- 人件費
- (仮称)新南部学校給食センター施設整備事業

丸山教育委員 学校給食センターの建設予定地が決定したということは良かったと思う。南部幹線が開通すると非常に便利な土地ということであるが、南部幹線の部分開通がいつ頃になるのか不明であるが、学校給食センターが先に完成したとして、どの道路をメインで使用する建物の配置になるのか。どのような

動線になるのだろうか。

下津教育政策課長 令和8年度から土地の造成が始まるが、裏の道路を使用して工事を進めることとしている。南部幹線の工事の経過を見ながら、県とも協議しながら工事車両の通行は考えたい。令和9年の2学期を共用開始予定としているが、県に確認したところ、その頃にはまだ南部幹線は開通していないとのことだったため、しばらくは裏の道路を使用することになる。開通した際は、南部幹線沿いがメインの出入口になるため、これから建物の配置や車の動線を考えていく。

丸山教育委員 大型の車両が通ると思うが、入り口が狭いところがあるように思うので、安全に工事が進むようお願いしたい。

渡邊教育委員 用地取得までの業務は、大変だったかと思う。本当にお疲れ様でした。中北町に建設されるということになると、どの学校が一番遠隔になり、配送にはどのくらいの時間がかかるのか。

下津教育政策課長 新南部給食センターの範囲は、現在の南部給食センター、麦島給食センター、西部給食センター、中部給食センターの一部である第一中、代陽小、八竜小、坂本中としている。一番遠いのは、二見、坂本になると思うが、給食が出来上がってから口に入るまでの2時間喫食のルールは満たしている。

中教育部長 2時間喫食という制限があるが、前後の積み込みや先生の検食等を考えると、実際に配送に使える時間は40分であると考えている。40分で配送できると考えている。

早田教育委員 この場所に給食センターが建設されるということで、防災の面で考えると、市の建物でこの場所に緊急避難場所があれば地域の人たちは避難しやすいのではないかと思う。八代市の防災や避難を考えたときに、この地域は厳しい地域であると感じている。1月1日の能登半島の地震では、津波警報が出る前に津波が到達していた地域もあり、八代市でも同じような状況が考えられる。この地域も津波の浸水区域に入っているので、大きな揺れがあつてすぐに高いところに避難しないといけないという状況の中で、給食センターが緊急避難場所の1つとして考えられるのであれば、1人でも多くの命が救われるのではないかと思う。給食センターという教育の施設であるが、防災の面も取り入れてもらえるとよいと思う。

4. 連絡事項 教育政策課 第3回総合教育会議 (2/20 13:00~)  
学校教育課 「八代型小中一貫・連携教育」実践校 実践発



表会 (1/30)  
生涯学習課 としょかんマルシェ (2/18)  
教育サポートセンター 教育論文・教育実践記録審査委囑状  
交付 (1/23)  
トワイライトセミナー最終日 (1/25)  
博物館 冬季特別展覧会 (2/9～3/24)  
事務局 2月定例会日程確認 (2/20 15:10 (総合教育  
会議終了後)～)

5. 会議録署名委員の指名 渡邊委員・丸山委員

6. 閉会 (午後3時25分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

---

---

記録者

---